

令和2年度基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター業務報告

【包括的支援事業】

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
総合相談支援業務	初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援、その実施に当たって必要となるネットワークの構築【継続】	令和2年度 継続	<基幹型> 主に、庁内連携や関係機関との連携対応が必要な場合の相談支援 <在支・包括> 主に、在宅の方の相談支援	・引き続き、相談対応については重点をおいて取り組みを実施。相談実人数、相談支援業務延べ数、相談者の区分、相談内容、訪問による相談結果については、資料8-2の2～5ページ参照。 ・熱中症予防シートを活用した実態把握については以下のとおり。 （内容） ひとり暮らし・高齢者のみ世帯を中心に熱中症予防シートを配布することにより、熱中症への注意を喚起し、室内での熱中症を予防する。あわせて、地域包括支援センター職員等が高齢者の実態把握訪問を行う際の手段として活用し、円滑な実態把握につなげる。 <配布実績> 民生児童委員 500 枚、ケアマネジャー1,290 枚、基幹型地域包括支援センター及び在宅介護・地域包括支援センター等 360 枚、計 2,150 枚 ※配布結果についてアンケートを実施 <配布期間> 令和2年5月下旬～9月30日	
	要介護認定の新規申請者の実態把握及び台帳作成【継続】	令和2年度 継続	<在支・包括> 主に、在宅の方の相談支援	平成2年4月～令和3年3月までの在宅介護・地域包括支援センターの要介護認定調査件数 ・ゆとりえ 418 件 ・吉祥寺本町 159 件 ・高齢者総合センター 423 件 ・吉祥寺ナーシング 254 件 ・桜堤ケアハウス 484 件 ・武蔵野赤十字 163 件 合計 1,901 件	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
総合相談支援業務	介護サービス未利用者の定期的な実態把握【継続】	令和2年度 継続	〈在支・包括〉 介護サービス未利用者の生活実態を定期的に把握し、必要時に適切な介護予防事業や支援につなげる。	資料8-4参照	
権利擁護業務	介護サービス事業者及びケアマネジャーに対する虐待に関する研修の実施【継続】	令和2年度 継続 年4回	〈基幹型〉 研修会の方向性及び内容の検討、研修会の開催 〈在支・包括〉 基幹型と連携して、研修内容の検討、研修会の実施	養護者による高齢者虐待対応研修会（ケアマネジャー対象） 第1回 令和2年12月10日（木） 参加者9名 第2回 令和3年1月28日（木） コロナ緊急事態宣言で中止	
	市民に対する虐待防止に関する普及啓発の実施【継続】	令和2年度 継続	〈基幹型〉 普及啓発方法の検討 〈在支・包括〉 基幹型と連携して普及啓発を行う	社会福祉士連絡会で、地域での見守り・孤立防止（高齢者虐待防止内容を含む）チラシの検討・作成を行い、約6,700部配布した。 配布先：テンミリオンハウス、いきいきサロン、地区別ケース検討会、老人クラブ、民生児童委員、地域福祉活動推進協議会、見守り・孤立防止ネットワーク連絡協議会関係団体、多摩信用金庫、市議会議員等 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域での普及啓発の講座は中止。	
	高齢者及び障害者虐待防止連絡会議の実施【継続】	令和2年度 継続 年2回	〈基幹型〉 ・障害者福祉課と共催で開催 ・関係各課や機関とともに、虐待防止の取り組みについて検討 〈在支・包括〉 ・会議に参加 ・ネットワークを活用した個別支援	【参加団体】武蔵野警察署、多摩府中保健所、地域活動支援センター地域生活支援センターびーと、地域活動支援センターライフサポート MEW、地域活動センターコット、地域自立支援協議会権利擁護部会、武蔵野市福祉公社権利擁護センター、在宅介護・地域包括支援センター、武蔵野市障害者福祉センター、地域支援課、生活福祉課、高齢者支援課、障害者福祉課、健康課、子ども家庭支援センター、 第1回 令和2年7月13日（月） 書面開催 第2回 令和3年1月25日（月） 書面開催	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
権利擁護業務	見守り・孤立防止ネットワークの強化（孤立防止に加え、消費者被害防止、防犯対策を目的とした庁内及び関係機関の連携強化）【継続】	令和2年度継続 連絡協議会の開催年2回	<p>&lt;基幹型&gt; 関係各課や機関と連携して開催 ※令和3年度より地域支援課が事務局となり開催</p> <p>&lt;在支・包括&gt; ・会議に出席 ・ネットワークを活用した個別支援</p>	<p>【参加団体】東京都住宅供給公社、都市再生機構、東京都宅地建物取引業協会武蔵野中央支部、多摩新聞販売同業組合武蔵野支部、東京ガス株式会社西部支店、東京電力パワーグリッド株式会社武蔵野支社、武蔵野市シルバー人材センター、武蔵野郵便局及び市内郵便局代表、水道部、武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会、弁当宅配業者、ヤマト運輸株式会社、生活協同組合コープみらい東久留米センター、生活協同組合パルシステム東京、セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂、武蔵野市商店会連合会、第一生命株式会社、明治安田生命保険相互会社、東都生活協同組合、東京ハイヤー・タクシー協会武三支部、武蔵野警察署、武蔵野消防署、武蔵野市医師会、東京都武蔵野市歯科医師会、武蔵野市薬剤師会、武蔵野市柔道整復師会、武蔵野市民生児童委員協議会、武蔵野市民社会福祉協議会、在宅介護・地域包括支援センター、健康福祉部各課、防災安全部安全対策課、子ども家庭部子ども家庭支援センター担当、都市整備部住宅対策課、市民部産業振興課</p> <p>第1回 令和2年9月18日（金）書面開催 第2回 令和3年3月3日（水）書面開催</p>	
	エンディング（終活）支援事業【継続】	令和2年度継続	<p>&lt;基幹型&gt; 普及啓発方法の検討</p> <p>&lt;在支・包括&gt; 基幹型と連携して普及啓発の実施</p>	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度上半期はエンディング出前講座の実施を中止し、エンディングノートの配布のみ行った。下半期は出前講座を再開したが、1月の緊急事態宣言中は再度中止した。一部オンラインでの出前講座を実施。	
介護予防ケアマネジメント業務	介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメントの実施【継続】	令和2年度継続	<p>&lt;基幹型&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武蔵野市独自様式の評価</li> <li>・介護予防検討会議の実施（事業対象から要支援1・2の方の個別地域ケア会議）</li> <li>・サービス担当者会議への出席等によりケアの質を維持向上</li> </ul>	ケアプラン作成件数等については資料8-2の9ページを参照	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考																																			
包括的・継続的マネジメント支援業務	主任ケアマネジャー研修の実施【継続】	令和2年度 継続 年1回	<p>&lt;基幹型&gt; 研修企画・開催</p> <p>&lt;在支・包括&gt; 基幹型と連携して研修を企画・開催</p>	<p>主任介護支援専門員研修を開催</p> <p>目的：1 居宅介護支援事業所に所属する主任介護支援専門員の役割として スーパーバイズができること</p> <p>2 コロナ禍においては感染症拡大予防対策も行いながら、主任介護支援専門員としての役割を果たすこととなるため、オンラインでの研修を開催することにより、対面に限らない方法を学ぶ</p> <p>第1回 開催日時：令和2年9月28日（月）午後4時～午後5時30分 開催方法：オンライン テーマ：「スーパーバイズの視点と実践をオンラインで学ぶ パート1」 講師：日本ケアマネジメント学会 相田里香氏 参加者：49名</p> <p>第2回 開催日時：令和2年12月4日（金）午後4時～午後5時 開催方法：オンライン テーマ：「スーパーバイズの視点と実践をオンラインで学ぶ パート2」 講師：日本ケアマネジメント学会 相田里香氏 参加者：25名</p>																																				
地域ケア会議推進事業	ケアプラン指導研修の実施【継続】	令和2年度 継続 年12回 [個別ケース検討件数:年114件]	<p>&lt;基幹型&gt; 研修委員会の運営</p> <p>&lt;在支・包括&gt; 委員として出席</p>	<p>介護支援専門員から提出されたケアプランをもとに基幹型地域包括支援センター、在宅介護・地域包括支援センターの主任介護支援専門員等、武蔵野市住宅改修・補助器具相談支援センターに所属する専門職（OT、ST、排泄ケア専門員）、保険者で構成するケアプラン指導研修委員が、「ケアプランの質の向上」を目的とした評価会議を開催。評価会議の結果を事例提出者へ面接により伝える。</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>令和2年4月22日(水)</td> <td>事例数</td> <td>9</td> <td>(書面開催)</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>令和2年5月27日(水)</td> <td>〃</td> <td>9</td> <td>(書面開催)</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>令和2年6月17日(水)</td> <td>〃</td> <td>8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>令和2年7月15日(水)</td> <td>〃</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>令和2年8月26日(水)</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>令和2年9月16日(水)</td> <td>〃</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>令和2年10月21日(水)</td> <td>〃</td> <td>10</td> <td></td> </tr> </table>	第1回	令和2年4月22日(水)	事例数	9	(書面開催)	第2回	令和2年5月27日(水)	〃	9	(書面開催)	第3回	令和2年6月17日(水)	〃	8		第4回	令和2年7月15日(水)	〃	10		第5回	令和2年8月26日(水)	〃	12		第6回	令和2年9月16日(水)	〃	13		第7回	令和2年10月21日(水)	〃	10		
第1回	令和2年4月22日(水)	事例数	9	(書面開催)																																				
第2回	令和2年5月27日(水)	〃	9	(書面開催)																																				
第3回	令和2年6月17日(水)	〃	8																																					
第4回	令和2年7月15日(水)	〃	10																																					
第5回	令和2年8月26日(水)	〃	12																																					
第6回	令和2年9月16日(水)	〃	13																																					
第7回	令和2年10月21日(水)	〃	10																																					

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」 の業務分担	実施状況	備考
				第8回令和2年11月18日(水) // 13 第9回令和2年12月16日(水) // 15 第10回令和3年1月20日(水) // 15 (書面開催) 第11回令和3年2月17日(水) // 10 (書面開催) 第12回令和3年3月10日(水) // 8 (書面開催) 合計 132 事例 (ケアマネジャー132名) ケアプラン研修フォローアップ研修 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止	
地域ケア 会議推進 事業	地区別ケース 検討会におけ る事例検討の 実施【継続】	令和2年度 継続  年30回 (各セン ター年5 回) [個別ケー ス検討件 数: 年30件]	<基幹型> 地区別ケース検討会の 開催支援  <在支・包括> ・地区別ケース検討会の 開催 ・事例検討のスーパーバ イズを居宅介護支援事 業所と連携して実施	ゆとりえ(東部第1) ① 令和2年7月16日(木) 事例検討『精神疾患で入退院を繰り返す独居女性が、家族に頼らず安心して暮らすには』 ② 令和2年9月17日(木) 事例検討『認知症 BPSD 傾向のあるRさんが妻と共に在宅生活を継続するには』 ③ 令和2年10月15日(木) 事例検討『進行性難病により身体能力低下のあるWさんと介護者の妻を支える支援とは』 ④ 令和2年11月19日(木) 事例検討『転倒を繰り返しながらも自宅で音楽講師を続けていきたいNさんの支援』 吉祥寺本町(東部第2) ① 令和2年8月12日(水) 事例検討『多問題事例から多職種連携を考える』 ② 令和2年9月9日(水) 事例検討『意思決定が困難な利用者に対してケアマネジャーがサービスを決断する時』 ③ 令和2年10月14日(水) 事例検討『ダンス教室を再開したい！現実…』	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
地域ケア会議推進事業				<p>④ 令和2年11月11日(水) 事例検討『本人の意思を尊重しながら必要なサービスにつなげるには』</p> <p>⑤ 令和2年12月9日(水) 事例検討『家に戻りたいでも戻れない…新しい環境 施設生活になじむには』</p> <p><b>高齢者総合センター(中央第1)</b></p> <p>① 令和2年8月21日(金) 事例検討A『家族のいない98歳の難聴の一人暮らしの女性の緊急対応について』 事例検討B『母親と夫の二人を介護する娘をCMとしてどのように支援していくか』 事例検討C『一人暮らしの認知症状がある利用者の生活を支える～コロナ感染がある中で～』 事例検討D『物忘れ症状があるが、活動的で就労意欲の高い女性ができる役割とは』</p> <p>② 令和2年9月18日(金) 事例検討A『関節リウマチによる変形や痛みがあるのに通院拒否。この方を通院へ繋げるには』 事例検討B『キーパーソン不在。精神疾患ある家族と暮らす不安』 事例検討C『夫婦喧嘩が絶えない、夫婦二人暮らしの生活をどう支えていくか、ケアマネとしての対応は』 事例検討D『認知症徘徊利用者の在宅生活を支える』</p> <p>③ 令和2年10月16日(金) 事例検討A『不安感の強いパーキンソン病の独居の方へ、今後どのように支援をしたらよいか』 事例検討B『他人との交流を拒み、被害妄想が強い認知症の独居男性をどのように支援していくか』 事例検討C『ガン転移後の進行早く容態の変化が大きいご利用者・ご家族への対応について』 事例検討D『清潔にこだわらないTさんをどのように支援したらよいか』</p>	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
地域ケア 会議推進 事業				<p>④ 令和2年11月20日(金)  事例検討A『窒息リスクがあるが、妻の理解を得つつ、本人が楽しみである食事を安全にとってもらうにはどうしたら良いか?』  事例検討B『退院後、メンタル面の低下著しい母と仕事復帰したい娘を支援するには』  事例検討C『強い介護拒否が何年も続き、暴言・暴力に耐え忍んでいるキーパーソン(長男妻)の介護負担を軽減するためにどのような取り組みが必要か』  事例検討D『パーキンソン病のある方のホームでの生活をどうサポートするか』</p> <p>⑤ 令和2年12月18日(金)  事例検討A『徐々に体力低下し、生活全般に対する意欲も低下している。現状に満足している本人の意欲をどう引き出すことができるか』  事例検討B『要介護1の妻に依存する認知症の夫への支援を考える』  事例検討C『知的障害のある長男との生活を支援するには』  事例検討D『不安神経症の妻と認知症の夫の2人暮らしを地域で支える』</p> <p><b>吉祥寺ナーシングホーム(中央第2)</b></p> <p>① 令和2年8月20日(木)  事例検討『「ケアマネは小間遣い?」～過大な要求をする家族への対応～』</p> <p>② 令和2年9月10日(木)  事例検討『家族それぞれが主導権を握りたがり、一度決めた方針をひっくり返すため必要な支援までに時間がかかってしまうケース』</p> <p>③ 令和2年11月12日(木)  事例検討『プライドが高く、関わりが難しいケース～支援の提案をことごとく却下される場合のアプローチについて～』</p> <p>④ 令和2年12月10日(木)  事例検討『介護者へのアプローチ、どうしたらいい～認知症の周辺症状に振り回されている家族への対応～』</p>	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」 の業務分担	実施状況	備考
地域ケア 会議推進 事業				<p>桜堤ケアハウス（西部第1）</p> <p>① 令和2年9月15日（火） 事例検討『キーパーソンの家族と関わりづらい方への支援』</p> <p>② 令和2年10月20日（火） 事例検討『本人の意向が引き出しにくい方への支援』</p> <p>③ 令和2年11月17日（火） 事例検討『同居の次女（閉じこもり・うつ・パニック障害・無職）との対立が絶えない利用者への支援』</p> <p>④ 令和2年12月15日（火） 事例検討『医療依存度が高い本人と、介護疲弊のある夫への支援』</p> <p>武蔵野赤十字（西部第2）</p> <p>① 令和2年8月20日（木） 事例検討『デイケアを希望する本人と必要がないという主治医との間でケアマネジャーはどう調整したらよいか』</p> <p>② 令和2年9月17日（木） 事例検討『脳梗塞後の本人を受け入れられない家族。の間に入るケアマネジャーはどうしたらよいか』</p> <p>③ 令和2年11月19日（木） 事例検討『重度の若年性認知症のその方らしさとは - ケアマネジャーのアプローチの工夫 -』</p> <p>④ 令和2年12月17日（木） 事例検討『81歳女性 統合失調症で入院が必要なのに外来受診を頑なに断る事例』</p>	



事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」 の業務分担	実施状況	備考
地域ケア 会議推進 事業	個別地域ケア 会議の開催 【継続】 エリア別地域 ケア会議の開 催【継続】	令和2年度 継続 年6回 (各セン ター年1 回)	<基幹型> 開催支援 <在支・包括> 会議開催	資料8-3 2~29ページ参照	
	全市的地域ケ ア会議の開催 【継続】	令和2年度 継続 年1回	<基幹型> 会議内容について関係 課と調整等 <在支・包括> 会議に出席	武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会 多職種連携推進・研修部会 事前研修会及び合同研修会を開催  事前研修会 日 時：令和2年11月13日(水)午後7時~8時30分 場 所：オンライン(事務局：武蔵野市役所111会議室) 講 師：角田ますみ(杏林大学保健学部准教授) 内 容：もしもの時を話し合うアドバンス・ケア・プランニング 医療・介 護・福祉・地域みんなで支える意思決定 参加者：各事業所連絡会及び三師会より参加希望者 計110名	
在宅医療 ・介護連携 推進事業	「脳卒中地域 連携パス」等、 多職種連携の ツールの検証や 活用する方策 の検討【継続】	令和2年度 継続	<基幹型> 地域支援課と連携して 方策を検討 <在介・包括> 基幹型と連携して方策 を検討	・脳卒中地域連携パス運用実績 131件 (急性期病院から回復期病院への情報連携)	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
在宅医療・介護連携推進事業	在宅医療介護連携支援室（武蔵野市医師会）と協働した医療介護連携の取組推進【継続】	令和2年度継続	<p>&lt;基幹型&gt; 在宅医療介護連携支援室と連携・調整し、相談に対応</p> <p>&lt;在支・包括&gt; 医療介護連携に関する相談機能を強化</p>	<p>武蔵野市在宅医療介護連携支援室（平成27年7月に武蔵野市医師会内に開設）の活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相談件数：276件 相談内容：在宅療養調整70件、入院入所調整20件、退院支援15件、転院支援16件、COVID19 121件、MCS17件、その他17件 相談元：ケアマネジャー71件、医療機関97件、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター38件、通所系3件、訪問看護6件、施設系3件、訪問介護1件、その他57件</li> <li>訪問件数：143件 訪問先：医療機関23件、ケアマネジャー12件、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター17件、通所系0件、訪問看護5件、有料老人ホーム12件、施設系1件、訪問介護0件、他区市連携支援室0件、その他2件、PCR検査センター71件</li> <li>地域包括支援センター等と連携・調整し、相談に対応。</li> </ul>	
	入退院時支援・在宅医療介護連携の調整【継続】	令和2年度継続	<p>&lt;基幹型&gt; 武蔵野市医師会・地域支援課・関係機関と連携・調整</p> <p>&lt;在支・包括&gt; 連携・相談の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度「入院時の情報連携シートの活用」活用実績58件。</li> <li>身寄りのない方の入退院時の対応について事例を活用して、医療・介護それぞれの立場から意見交換を行い、次年度も継続して、仕組み作りを行う。</li> </ul>	
	摂食嚥下支援体制の整備・推進【継続】	令和2年度継続	<p>&lt;基幹型&gt; 武蔵野市歯科医師会・関係機関と連携・調整</p> <p>&lt;在支・包括&gt; ・研修の広報周知への協力等</p>	<p>ケアマネジャー等支援者に対し、摂食嚥下に関する相談窓口の明確化と、オーラルフレイル予防を含む摂食嚥下支援の重要性に関する意識の醸成を図ることを目的に研修会を開催。</p> <p>令和3年3月12日（金） オンライン開催</p> <p>第一部 「フレイルからの卒業～摂食嚥下支援事業の事例から～」</p> <p>第二部 「口腔体操、きちんとできていますか？」</p>	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
生活支援 体制整備 事業	生活支援コーディネーターを中心とした地域の自主的な取組みの支援【継続】	令和2年度継続 地域住民が自主的に運営する多様な通いの場を支援	<p>&lt;基幹型&gt; 第2層の後方支援</p> <p>&lt;在支・包括&gt; 「いきいきサロン」等の社会資源の立ち上げ支援、事業の継続・発展支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通いの場への参加者実人数 テンミリオンハウス 855 人（登録者数）、いきいきサロン 392 人（登録者数）、健康やわら体操 90 人、不老体操 287 人（登録者数）、地域健康クラブ 1,199 人 計 2,823 人</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休止していたいきいきサロンの再開に向けて、新型コロナウイルス感染症対策ガイドを作成等、サロンの再開支援を行った。</li> </ul>	
	生活支援サービス整備に関する定期的な情報共有や連携強化等のための協議体の運営【継続】	令和2年度継続	<p>&lt;基幹型&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1層（市全体レベル）の協議体として位置づけている「地域包括ケア推進協議会」の開催、報告</li> <li>・生活支援コーディネーター連絡会議の開催</li> </ul> <p>&lt;在支・包括&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援コーディネーター会議に出席</li> <li>・各地域での協議会への参加</li> </ul>	<p>第1回地域包括ケア推進協議会（第1層協議体）を令和2年6月4日（木）に書面開催。</p> <p>第2回地域包括ケア推進協議会（第1層協議体）を令和3年2月22日（月）にWEB併用で開催。</p> <p>生活支援コーディネーター連携会議 第1層及び第2層の生活支援コーディネーターによる会議を定期的に行われ、地域の自主的な取組みや、生活支援コーディネーターの活動を通しての地域課題等についての情報共有、検討を行った。 今年度は新型コロナウイルス感染症により5月分を6月に書面開催。7月、9月、11月は通常開催。1月、3月はWEB開催。</p>	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
認知症総合支援事業	認知症コーディネーター（認知症地域支援推進員）の配置による認知症連携の強化【継続】	令和2年度継続	<p>&lt;基幹型&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在支・包括の後方支援</li> <li>・ 武蔵野赤十字病院認知症疾患医療センターや武蔵野市医師会と連携した認知症初期集中支援チームの支援により、適切な医療・介護につなぐ</li> </ul> <p>&lt;在支・包括&gt;</p> <p>認知症初期集中支援チーム等の仕組みを活用し、認知症の早期発見・早期対応に取り組む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症コーディネーター（認知症地域支援推進員）を市内6か所の在宅介護・地域包括支援センター及び基幹型地域包括支援センターに配置</li> <li>・ 保健師等連絡会議（旧認知症コーディネーター会議）在宅介護・地域包括支援センターの保健師による会議を定期的に行い、認知症に関する地域づくりや支援体制の整備等について議論を行う。年6回実施。 ※今年度は新型コロナウイルス感染症により4月は開催中止。6月、8月をオンラインにて開催した。</li> <li>・ 認知症アウトリーチチーム実績 該当ケースなし（初期集中支援の中で、医療機関への連絡調整、受診手配、かかりつけ医との連携等を行うことで対応したため）。</li> <li>・ 認知症初期集中支援チーム実績は、チーム支援実施5件（全事例において、チーム支援検討会議にてチーム支援適応の有無を確認）。</li> <li>・ 認知症相談 認知症に関する相談に応じて適切な医療・介護につなぐ。</li> <li>・ 認知症サポーターステップアップ講座 意欲ある認知症サポーターが、地域で暮らす認知症の方とその家族を支えるために必要な具体的知識やスキルを習得し、自主的な地域支援活動に取り組むきっかけをつくる講座を開催。</li> </ul>	
認知症総合支援事業	在宅医療・介護連携推進協議会 認知症連携部会の運営【継続】	令和2年度継続 年3回程度	<p>&lt;基幹型&gt;</p> <p>会議開催</p> <p>&lt;在支・包括&gt;</p> <p>会議に参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師会、認知症疾患医療センター等の医療関係者と、居宅介護支援事業者、通所介護事業者等介護事業所関係者、在宅介護・地域包括支援センター職員、行政職員などで構成。</li> <li>・ 認知症高齢者支援のための在宅医療・介護連携体制の構築・推進に関する事項について検討することを目的とし、年2～3回程度開催。 ○第1回： 令和2年12月8日オンライン開催 部会員15名出席 昨年度第2回部会にて部長より提案のあった事前提出課題（職種毎の認知症ケアにおける得意なこと等）について、各部会員から提出を得た内容を集約した資料を基に質疑応答や意見交換を行った。 ○第2回： 令和3年2月15日オンライン開催 部会員17名出席令和2年度に実施した認知症初期集中事業の4事例を取上げ、事例研究会を開催。それぞれの職種の立場から、認知症ケアの視点、医療と介護の連携等について意見交換を行った。</li> </ul>	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
	もの忘れ相談シートの活用促進【継続】	令和2年度 継続	<p>&lt;基幹型&gt; シートの活用・周知等</p> <p>&lt;在支・包括&gt; 認知症相談や認知症症状で医療機関に受診する際に、物忘れ相談シートを積極的に活用</p>	<p>○もの忘れ相談シート活用件数 60件</p> <p>・認知症相談：45件（在支・包括実施分）、6月疾患医療センターによる相談会：7件、9月医師会による休日相談会（中止）、電話相談会：2件、1月疾患医療センターによる相談会（中止）、3月医師会による休日相談会：6件</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、9月の認知症を知る月間中に行う医師会による休日相談会及び1月の認知症疾患医療センターによる相談会は中止とし、9月に認知症予防財団の専門相談員による電話相談を4日間実施した。</p>	
認知症総合支援事業	認知症相談事業の実施【継続】	令和2年度 継続	<p>&lt;基幹型&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談会の開催</li> <li>・相談会から見える課題とその課題を解決するための検討</li> </ul> <p>&lt;在支・包括&gt; 相談会に同席し、助言を行う</p>	<p>・月3回、市役所または在宅介護・地域包括支援センターを会場にした認知症予防財団相談員による認知症相談を実施。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4、5月は中止とし、6月より電話相談も可として再開した。</p> <p>相談件数：45件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会と協働した認知症相談の実施 9月の「認知症を知る月間」における医師会の医師（もの忘れ相談医）による休日相談会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より中止。 令和3年3月28日にもの忘れ相談医による休日相談会を開催。相談件数：6件</li> <li>・認知症疾患医療センターと協働した認知症相談の実施 令和2年6月26日に認知症疾患医療センターによる無料相談会を開催。相談件数：7件 令和3年1月29日に認知症疾患医療センターによる無料相談会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より中止。</li> </ul>	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」 の業務分担	実施状況	備考
	認知症初期集中支援チームの運用【継続】	令和2年度 継続	<p>〈基幹型〉 認知症初期集中支援チームの評価</p> <p>〈在支・包括〉 認知症初期集中支援チームの運用</p>	<p>・令和2年度5件実施 本人・家族、かかりつけ医、認知症サポート医、武蔵野赤十字病院認知症疾患医療センター相談員、基幹型、在支・地域包括支援センター等がチームとなり認知症の方々の課題解決のため取組をした。</p>	
	認知症に関する普及・啓発【継続】	令和2年度 継続	<p>〈基幹型〉 普及啓発方法の検討</p> <p>〈在支・包括〉 基幹型と連携して普及啓発を実施</p>	<p>・認知症サポーター養成講座の実施 講座開催数：16回（内：定例実施6回） 延受講者数：512名 ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、5、6月に予定していた一般市民向け講座を中止。 ※ 1月に一般市民向け講座を追加し、緊急事態宣言発出のためオンラインにて開催。</p> <p>・認知症サポーターステップアップ講座の実施（連続講座） 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から内容を精査し、例年5回の連続講座とするところ3回に減じて開催。 第1回（動画講座※） 27名 第2回（認知症の方への声かけ講座） 19名 第3回（当事者によるお話） 28名 ※ 会場での視聴の他、オンラインでも実施</p> <p>・地域認知症講座の実施 例年、コミセンにて開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一時中断し、当該講師による動画講演を「認知症を知る月間」期間中にHPにて公開（現在も公開中）したほか、DVD化し、当課及び中央図書館にて貸し出し対応中。 講師：繁田雅弘氏（東京慈恵会医科大学精神医学講座教授）</p>	

【指定介護予防支援事業】

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
指定介護 予防支援	介護保険における予防給付等の対象となる要支援者への介護予防サービス計画の作成及び関係機関と連絡調整【継続】	令和2年度 継続	<p>&lt;基幹型&gt; 指定介護予防支援事業所として、契約・サービス担当者会議への出席・給付管理業務を実施</p> <p>&lt;在支・包括&gt; 指定介護予防支援事業所として受託</p>	<p>・介護予防マネジメント（事業対象者）および介護予防サービスの利用者のサービス担当者会議には全件参加。</p> <p>・ケアマネジャーによる、自立支援に資するケアマネジメントが提供されるよう、毎週1回基幹型包括で介護予防検討会議を実施し、36回430件の検討を行った。</p>	

【一般介護予防事業】

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
一般介護 予防事業	介護予防普及啓発事業【継続】	令和2年度 継続	<p>&lt;基幹型&gt; 普及啓発事業の検討</p> <p>&lt;在支・包括&gt; 基幹型と連携して普及・啓発を実施</p>	資料8-2 14ページ参照	

【新型コロナウイルス感染症対策】

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
新型コロナウイルス感染症対策	新型コロナウイルス感染症対策研修の実施	令和2年度新規	<基幹型> 研修会の実施 <在支・包括> 居宅介護支援事業所として参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症及び感染症対策の基礎知識について研修会を実施</li> </ul> 対象：居宅介護支援事業所 令和2年8月12日(水) 411会議室 9名 オンライン 11名 令和2年8月14日(金) 412会議室 9名 オンライン 8名  対象：訪問介護事業者 令和3年2月2日(火) 講義：オンラインのみ 23名 令和3年2月5日(金) 実習：811会議室 13名  対象：いきいき支え合いヘルパー 令和3年2月26日(金) 412会議室 16名	
	高齢者の実態把握の実施	令和2年度新規	<基幹型> 実態把握の実施 <在支・包括> 実態把握の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合事業対象者、要支援1・2認定者、緊急通報システム利用者、そのほか在宅介護・地域包括支援センターが、実態把握が必要と判断した高齢者を対象として、在宅介護・地域包括支援センター、基幹型地域包括支援センター職員が電話または訪問による実態把握を実施。</li> <li>・令和2年4月～5月緊急事態宣言中実績              基幹型地域包括支援センター 318件(電話 264件、訪問 54件)、              在宅介護・地域包括支援センター 1,245件(電話 1,214件、訪問 31件)</li> </ul>	



事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」「在支・包括」の業務分担	実施状況	備考
	フレイル予防普及・啓発	令和2年度新規	〈基幹型〉普及啓発の検討・実施 〈在支・包括〉普及啓発の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル予防普及啓発チラシ作成・配布</li> </ul> 令和2年6月21日「武蔵野安心・安全ニュース」の発行に合わせ、フレイル予防啓発チラシ作成し、同時配布 7,000部 （配布先：老人クラブ、民生児童委員、地域福祉活動推進協議会、見守り・孤立防止ネットワーク連絡会関係団体、多摩信用金庫、市議会議員等）	
新型コロナウイルス感染症対策	いきいき生活度チェック	令和2年度新規	〈基幹型〉企画立案・実施 〈在支・包括〉実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策のため通所サービス利用を休止している総合事業対象者、要支援1・2認定者を対象に、面談による「いきいき生活度チェック」*及び、「フレイル予防チラシ」配布による日常生活面のアドバイスを実施。</li> <li>・結果は資料8-5参照</li> </ul> *東京都健康長寿医療センター研究所が作成しているフレイルチェック表に市独自でチェック項目を追加したもの  <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロン利用者に対して、「いきいき生活度チェック」を実施した。</li> </ul>	